

日 本 国 特 許 庁

JAPAN PATENT OFFICE



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2001年 2月 5日

出 願 番 号

Application Number:

特願2001-028320

出 願 人

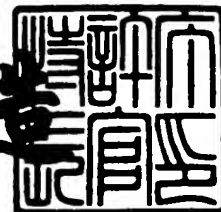
Applicant(s):

株式会社日立製作所

2001年 9月17日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

出証番号 出証特2001-308560

【書類名】 特許願

【整理番号】 NT00P1147

【提出日】 平成13年 2月 5日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 H04B 7/26

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県横浜市戸塚区吉田町 2 9 2 番地 株式会社日立
製作所 デジタルメディア開発本部内

【氏名】 浜崎 健一

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県横浜市戸塚区吉田町 2 9 2 番地 株式会社日立
製作所 デジタルメディア開発本部内

【氏名】 清水 宏

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県横浜市戸塚区吉田町 2 9 2 番地 株式会社日立
製作所 デジタルメディア開発本部内

【氏名】 森 直樹

【特許出願人】

【識別番号】 000005108

【氏名又は名称】 株式会社日立製作所

【代理人】

【識別番号】 100068504

【弁理士】

【氏名又は名称】 小川 勝男

【電話番号】 03-3661-0071

【選任した代理人】

【識別番号】 100086656

【弁理士】

【氏名又は名称】 田中 恭助

【電話番号】 03-3661-0071

【選任した代理人】

【識別番号】 100094352

【弁理士】

【氏名又は名称】 佐々木 孝

【電話番号】 03-3661-0071

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 081423

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 データ供給装置及びデータ供給方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

移動可能な第 1 の端末から送信されるユーザデータとしての画像データと該画像データ取得時の位置データと時間データと、地図データと、店舗データとを記憶する記憶手段と、該ユーザデータ及び該店舗データを該地図データと組合せて合成データを作成する合成手段とを備え、該合成データを、該第 1 の端末または、該合成データを表示可能な第 2 の端末側に供給するようにした構成を特徴とするデータ供給装置。

【請求項 2】

移動可能な第 1 の端末から送信されるユーザデータとしての画像データと該画像データ取得時の位置データと時間データと、地図データと、店舗データとを記憶する記憶手段と、該ユーザデータ及び店舗データを該地図データと組合せて合成データを作成する合成手段と、該合成データを、該第 1 の端末または、該合成データを表示可能な第 2 の端末側に供給する供給手段と、該合成及び供給の料金を計算し該店舗データの提供元、該第 1 の端末側、または該第 2 の端末側に課金する課金手段と、を備えた構成を特徴とするデータ供給装置。

【請求項 3】

上記合成手段は、上記第 1 の端末または上記第 2 の端末において、画像データに基づく画像ポイントと、店舗データに基づく店舗ポイントとを上記地図データ上に表示し、さらに該ポイントのうち少なくともいずれかが選択されたとき該選択されたポイントに該当するデータを表示するようにした構成である請求項 1 または請求項 2 に記載のデータ供給装置。

【請求項 4】

上記記憶手段は、上記ユーザデータをユーザ ID に従って記憶する構成である請求項 1 または請求項 2 に記載のデータ供給装置。

【請求項 5】

上記合成手段は、上記ユーザデータから合成に使う地図データを検索する構成

を有する請求項 1 または請求項 2 に記載のデータ供給装置。

【請求項 6】

地図データを記憶する手段を有し、該記憶した地図データを、該地図データと画像データ、位置データ、時間データ及び店舗データとを組合せて合成データを作成するための合成装置に対し供給可能なようにした構成を特徴とするデータ供給装置。

【請求項 7】

店舗データを記憶する手段を有し、該記憶した店舗データを、画像データ、位置データ、時間データ、該店舗データ及び地図データとを組合せて合成データを作成する合成装置に対し供給可能なようにした構成を特徴とするデータ供給装置。

【請求項 8】

移動可能な第 1 の端末から送信されるユーザデータとしての画像データと該画像データ取得時の位置データと時間データと、地図データと、店舗データとを受信するステップと、これらのデータを記憶するステップと、該ユーザデータ及び店舗データを該地図データと組合せて合成データを作成するステップと、該合成データを、該第 1 の端末または、該合成データを表示可能な第 2 の端末側に供給するステップと、を経てデータ供給を行うようにしたことを特徴とするデータ供給方法。

【請求項 9】

移動可能な第 1 の端末から送信されるユーザデータとしての画像データと該画像データ取得時の位置データと時間データと、地図データと、店舗データとを受信するステップと、これらのデータを記憶するステップと、該ユーザデータ及び店舗データを該地図データと組合せて合成データを作成するステップと、該合成データを、該第 1 の端末または、該合成データを表示可能な第 2 の端末側に供給するステップと、該合成及び供給の料金を計算し該店舗データの提供元、該第 1 の端末側、または該第 2 の端末側に課金するステップと、を経てデータ供給を行うようにしたことを特徴とするデータ供給方法。

【請求項 10】

上記課金するステップでは、上記店舗データの提供元への課金額を割引ポイントにして上記第 1 の端末側または第 2 の端末側への課金額を計算する請求項 9 に記載のデータ供給方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、端末で取得した画像データや、位置データを地図データと合成する技術に関する。

【0002】

【従来技術】

本発明に関連する従来技術としては、例えば、特開平 9 - 1 7 9 4 9 1 号公報に、車両の走行した場所の位置データや時間データをデジタルカメラで撮影した画像の位置データや時間データと関連付け、該画像をデジタル地図上に表示するようにした技術が記載されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

ユーザがレジャーや旅行で撮影した複数の写真を管理する方法としてアルバムを作成するケースが多いが、アルバムで写真を保存するという方法では、年月の経過による写真の劣化があり、また、写真の増加とともにアルバム数も増え保管場所に困るという問題点がある。デジタルカメラで撮影したデータを記憶媒体に保存する場合も、単に撮影した順番に保存しておくだけでは後でその画像を見てもどのような状況で撮影したのかわからなくなるケースが多い。また、上記特開平 9 - 1 7 9 4 9 1 号公報記載の技術では、車両で移動した場合にしか位置データを取得することができない。さらに、位置データを取得する移動端末と画像データを取得するカメラをケーブルで接続した場合は移動中の取り出しや撮影作業の妨げにもなる。

本発明の課題点は、かかる従来技術に鑑み、（１）画像データを記憶媒体に単に撮影順に保存しておくだけでも後で見たときどのような状況で撮影したかがすぐにわかること、（２）車両で移動しない場合でも位置データ等を取得可能なこ

と、(3) ケーブル接続によらずに位置データ及び画像データを取得できること、等である。

本発明の目的は、かかる課題点を解決できる技術を提供することにある。

【 0 0 0 4 】

【課題を解決するための手段】

上記課題点を解決するために、本発明では、

(1) データ供給装置(該当実施例: 符号 1 5 0) として、移動可能な第 1 の端末(該当実施例: 符号 1 3 0) から送信されるユーザデータとしての画像データと該画像データ取得時の位置データと時間データと、地図データと、店舗データとを記憶する記憶手段(該当実施例: 符号 1 5 1 ~ 1 5 3) と、該ユーザデータ及び店舗データを該地図データと組合せて合成データを作成する合成手段(該当実施例: 符号 3 0 2 a) とを備え、該合成データを、該第 1 の端末または、該合成データを表示可能な第 2 の端末(該当実施例: 符号 1 4 0) 側に供給するようにした構成とする。

(2) データ供給装置として、移動可能な第 1 の端末から送信されるユーザデータとしての画像データと該画像データ取得時の位置データと時間データと、地図データと、店舗データとを記憶する記憶手段(該当実施例: 符号 1 5 1 ~ 1 5 3) と、該ユーザデータ及び店舗データを該地図データと組合せて合成データを作成する合成手段(該当実施例: 符号 3 0 2 a) と、該合成データを、該第 1 の端末または、該合成データを表示可能な第 2 の端末側に供給する供給手段(該当実施例: 符号 3 0 1) と、該合成データ作成及びデータ供給の料金を計算し該店舗データの提供元、該第 1 の端末側、または該第 2 の端末側に課金する課金手段(該当実施例: 符号 3 0 2 b) とを備えた構成とする。

(3) 上記(1) または(2) において、上記合成手段を、上記第 1 の端末または上記第 2 の端末において、画像データに基づく画像ポイントと、店舗データに基づく店舗ポイントとを上記地図データ上に表示し、さらに該ポイントのうち少なくともいずれかが選択されたとき該選択されたポイントに該当するデータを表示するようにした構成とする。

(4) 上記(1) または(2) において、上記記憶手段を、上記ユーザデータを

ユーザ I D に従って記憶する構成とする。

(5) 上記 (1) または (2) において、上記合成手段を、上記ユーザデータから合成に使う地図データを検索する構成を有するようにする。

(6) データ供給装置として、地図データを記憶する手段 (該当実施例：符号 160、161) を有し、該記憶した地図データを、該地図データと画像データ、位置データ、時間データ及び店舗データとを組合せて合成データを作成するための合成装置に対し供給可能なようにした構成とする。

(7) データ供給装置として、店舗データを記憶する手段 (該当実施例：符号 170、171) を有し、該記憶した店舗データを、画像データ、位置データ、時間データ、該店舗データ及び地図データとを組合せて合成データを作成する合成装置に対し供給可能なようにした構成とする。

(8) データ供給方法として、移動可能な第 1 の端末から送信されるユーザデータとしての画像データと該画像データ取得時の位置データと時間データと、地図データと、店舗データとを受信するステップと、これらのデータを記憶するステップと、該ユーザデータ及び店舗データを該地図データと組合せて合成データを作成するステップと、該合成データを、該第 1 の端末または、該合成データを表示可能な第 2 の端末側に供給するステップと、を経てデータ供給を行うようにする。

(9) データ供給方法として、移動可能な第 1 の端末から送信されるユーザデータとしての画像データと該画像データ取得時の位置データと時間データと、地図データと、店舗データとを受信するステップと、これらのデータを記憶するステップと、該ユーザデータ及び店舗データを該地図データと組合せて合成データを作成するステップと、該合成データを、該第 1 の端末または、該合成データを表示可能な第 2 の端末側に供給するステップと、該合成データ作成及びデータ供給の料金を計算し該店舗データの提供元、該第 1 の端末側、または該第 2 の端末側に課金するステップと、を経てデータ供給を行うようにする。

(10) 上記 (9) において、上記課金するステップでは、上記店舗データの提供元への課金額を割引ポイントにして上記第 1 の端末側または第 2 の端末側への課金額を計算するようにする。

【 0 0 0 5 】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施例につき図面を用いて説明する。

図 1 は、本発明を用いた全体システムの構成例である。

図 1 において、100 はネットワーク、130 は移動可能な第 1 の端末としてのカメラ付き携帯端末、131 は該携帯端末が取得した画像データと位置データと該画像データを取得したときの時刻を示す時間データとを記憶する記憶手段、150 はサービスセンタのデータ供給装置、160 は地図データ提供元（例えば地図情報提供業者）のサーバ、170 は店舗データ提供元のサーバ、140 はユーザ宅に設けた端末であって、上記データ供給装置から送信されるデータ（合成データ）を受信し表示可能な第 2 の端末としての端末である。例えば、移動先の場所でユーザが、カメラ付き携帯端末 130 により画像を撮影した場合、該画像のデータやそのときの取得位置のデータ、時間データなどは記憶手段 131 に記憶される。該取得位置データは該撮影画像データと関連付けられて記憶手段 131 に記録される。こうしてレジャーや旅行でユーザが移動した軌跡と、軌跡に関連付けられた画像データが記録される。また、該携帯端末 130 は、該取得した画像データ、位置データ及び時間データを、ネットワーク 100 を介してサービスセンタのデータ供給装置 150 に送信する。該サービスセンタのデータ供給装置 150 には、さらに、地図データ提供元のサーバ 160 から地図データが該ネットワーク 100 を介して送信され、店舗データ提供元のサーバ 170 からは店舗や商品の情報などの店舗データが該ネットワーク 100 を介して送信される。該データ供給装置 150 ではこれらのデータを受信してそれぞれを記憶手段に記憶する。かかる状態において、該携帯端末 130 または端末 140 からの要求があったとき、該データ供給装置 150 は、その合成手段により、該画像データ、位置データ、時間データ及び店舗データを、該地図データと組合せて合成データを作成し、該合成データを該携帯端末 130 または端末 140 に送信する。該合成データは、該携帯端末 130 または端末 140 において、画像データに基づく画像ポイントと、店舗データに基づく店舗ポイントとが上記地図データ上に表示される内容のものであり、該ポイントのうち少なくともいずれかが選択されると

き該選択されたポインタに該当するコンテンツデータが表示されるようになって
いる。図 1 中には画像ポインタ（画像アイコン）と店舗ポインタ（店舗アイコン）
が選択された場合の表示例を示す。該表示情報に基づき、店舗データ提供元に
対し品物の発注または問合せをすることが可能となる。該発注または問合せは該
携帯端末 1 3 0 または端末 1 4 0 により行ってもよいし、または別の手段によっ
てもよい。

【 0 0 0 6 】

図 2 は上記図 1 の構成をブロック図として示したものである。

図 2 において、1 1 0 はカメラ付き携帯端末 1 3 0 をネットワーク 1 0 0 に接
続する基地局、1 5 1 は、サービスセンタのデータ供給装置 1 5 0 内にあってユ
ーザデータを記憶する記憶手段、1 5 2 は地図データを記憶する記憶手段、1 5
3 は店舗データを記憶する記憶手段、1 6 1 は地図データ提供元のサーバ 1 6 0
において地図データを記憶する記憶手段、1 7 1 は店舗データ提供元のサーバ 1
7 0 において店舗データを記憶する記憶手段である。

ユーザの端末 1 4 0 はデータ供給装置 1 5 0 に、地図データ上に軌跡データや
画像データを編集した合成データの作成と供給の要求を行ったり、供給された合
成データを見たり、さらにはインターネットブラウザとして使用することもでき
る。

データ供給装置 1 5 0 はユーザが送信してきたユーザデータをユーザ毎に管理
する。データ供給装置 1 5 0 は端末 1 4 0 からの要求により地図データ 1 5 2 上
にユーザデータを基に軌跡や画像があることを示すポインタを図示したり、店舗
データを基に店舗のポインタを図示したりし、その合成画面を端末 1 4 0 に送信
する。例えば、端末 1 4 0 の画面上において、店舗のポインタが選択されると、
ネットワーク 1 0 0 を介しサーバ 1 6 0 にリンクされ、店舗情報や、商品情報な
どが該端末 1 4 0 の画面上に表示される。

【 0 0 0 7 】

図 3 は、本発明の実施例であって、データ供給装置 1 5 0 の構成例を示す。

図 3 において、3 0 0 はネットワーク 1 0 0 と接続する回線 I / F（インター
フェース）、3 0 1 は、受信したパケットデータを記憶用データに変換したり、

合成データをパケット化し送信するための送受信部、302は、データ供給装置全体を制御するとともに、合成データの作成を行う合成部302aと、料金の計算等を行う料金計算部302bを備えて成る制御部、303はプログラムやデータを一時的に記憶しておくRAM、304はプログラムを格納するROM、305は供給する合成データを作成するまでの画像データを一時保存しておく画像メモリ、306は画像データの圧縮や伸張を行う画像処理部、307はユーザデータや地図データや店舗データを記憶しておく記憶部である。カメラ付き携帯端末130からの画像データ、位置データ、時間データは回線I/F300を介し送受信部301で受信され、記憶部307の記憶手段151にユーザデータとして記憶される。ユーザ側の端末130または140から合成データの供給の要求があると、制御部302が、記憶された地図データのうちから、希望の位置データに対応する地図データを選択し、合成部302aで、該選択した地図データとユーザデータと店舗データとを組合せて合成データを作成する。作成した合成データは、送受信部301と回線I/F300を経てユーザ側の端末130または140に送信される。

【0008】

図4は、データ供給装置150にユーザデータとして記憶されるテーブルの一例を示す。ユーザデータテーブル400において、401は予め登録してあるユーザ固有のユーザID、402はレジャーや旅行毎にユーザが設定するタイトルで、初期値はデータ供給装置150が設定する。403は画像データや位置データを記録した日付、404は画像データや位置データを記録した時間、405は位置データの緯度、406は位置データの経度、407は画像データの有無を判別するためのフラグである。

【0009】

図5は、データ供給装置150に店舗データとして記憶されるテーブルの一例を示す。店舗データテーブル500において、501は予め登録してある店舗固有のユーザID、502は店舗の業種、503は店舗の緯度、504は店舗の経度、505は店舗のホームページのURL (Uniform Resource Locators) である。

【 0 0 1 0 】

図 6 は、データ供給装置 1 5 0 が作成してユーザの端末 1 3 0 または 1 4 0 に供給する画面の一例を示す。

ネットワーク 1 0 0 を介しユーザの携帯端末 1 3 0 または端末 1 4 0 がデータ供給装置 1 5 0 に接続されると、図 6 (a) に示すように、データ供給装置 1 5 0 は、予め作成してあるユーザ認証用の I D とパスワードを入力する認証画面を送信し、携帯端末 1 3 0 または端末 1 4 0 の画面に表示させる。この画面からの入力によって本人確認がされ、不正使用が防止される。図 6 (a) で入力されたデータの認証を行ったデータ供給装置 1 5 0 の制御部 3 0 2 は、メニュー画面である図 6 (b) をユーザの携帯端末 1 3 0 または端末 1 4 0 に送信しその画面に表示させる。制御部 3 0 2 が表示させるタイトルは、ユーザデータに格納されているユーザデータテーブル 4 0 0 の中で、図 6 (a) で入力されたユーザ I D と合致するものである。図 6 (b) はタイトルの編集や画像の選別などの送信を行うためのメニューなども含む。図 6 (b) を表示しているユーザの端末 1 3 0 または 1 4 0 において、データ供給を受けたいタイトルが選択されると、データ供給装置 1 5 0 は、図 6 (c) に示すように操作ボタン 6 0 0 を具備した供給データ表示画面を作成し、携帯端末 1 3 0 または端末 1 4 0 に送信し表示させる。

【 0 0 1 1 】

図 7、図 8 及び図 9 は、ユーザの端末 1 3 0 または 1 4 0 の画面に図 6 (b) のような表示がされている場合にいずれかのタイトルが選択されたときのデータ供給装置 1 5 0 における処理の説明図である。データ供給装置 1 5 0 は、タイトルが選択されたことを示すデータを受信すると、制御部 3 0 2 はユーザデータテーブル 4 0 0 のタイトル 4 0 2 の中から、選択されたタイトルと一致するレコードの軌跡座標（緯度） 4 0 5 と軌跡座標（経度） 4 0 6 から、最大の緯度と経度及び最小の緯度と経度を算出し、ユーザの行動範囲を決める（ S 7 0 1 ）。次に、該行動範囲が網羅されている地図を地図データ 1 5 2 から選択する（ S 7 0 2 ）。図 8 (a) は該選択した地図 8 0 0 を示す。次に、該地図 8 0 0 の範囲に含まれる店舗を、店舗データテーブル 5 0 0 の店舗座標（緯度） 5 0 3 と店舗座標（経度） 5 0 4 に基づき検索し、上記行動範囲内の店舗を業種別に判別できるよ

うに、異なる表示形態のポインタを使って合成部 3 0 2 a が図 8 (b) のようにプロットする (S 7 0 3)。図 8 (b) において、ポインタ 8 0 1 とポインタ 8 0 3 は同じ業種、ポインタ 8 0 2 は異なる業種であることを示す。次に、ユーザデータテーブル 4 0 0 の中から指定されたタイトルのレコードの座標を軌跡 8 0 4 として地図 8 0 0 にプロットする。さらに、レコード中の画像 4 0 7 が「有」のときは、8 0 5、8 0 6 の位置で撮影した画像があることを示すポインタ (画像ポインタ 8 0 5、8 0 6) をプロットする (S 7 0 4)。地図とポインタの画像の合成は、制御部 3 0 2 の合成部 3 0 2 a が画像処理部 3 0 6 と画像メモリ 3 0 5 を制御することにより行い、さらに、合成部 3 0 2 a は、地図 8 0 0 と操作ボタン 6 0 0 を配置した供給データ表示画面 6 0 1 を作成する (S 7 0 5)。なお、店舗ポインタ 8 0 1、8 0 2、8 0 3、画像ポインタ 8 0 5、8 0 6 は端末 1 3 0 または 1 4 0 上で選択できるようになっている。

【0 0 1 2】

ユーザの端末 1 3 0 または 1 4 0 に表示された供給データ表示画面 6 0 1 において、操作ボタン 6 0 0 が選択された場合 (S 7 0 6)、制御部 3 0 2 は拡大、縮小、上下、左右のいずれが選択されたかを判別し、次に表示する地図を選択する (S 7 0 7)。次に、上記 S 7 0 3 の場合と同様に、合成部 3 0 2 a が、選択した地図の領域内に含まれる店舗のポインタをプロットする (S 7 0 8)。次に、上記 S 7 0 4 と同様に、ユーザの軌跡と画像がある場合には画像ポインタをプロットし (S 7 0 9)、供給データ表示画面 6 0 1 を再作成して送信し (S 7 1 0)、ユーザの端末 1 3 0 または 1 4 0 に表示させる。端末 1 3 0 または 1 4 0 に表示された供給データ表示画面 6 0 1 において、店舗ポインタ (8 0 1、8 0 2、8 0 3 のいずれか) が選択された場合 (S 7 1 1) は、店舗ポインタは店舗データにある URL 5 0 5 にリンクするように設定されており、ユーザの端末 1 3 0 または 1 4 0 はネットワーク 1 0 0 を経由してサーバ 1 6 0 に接続され、店舗のコンテンツを格納している店舗データにアクセスできるようになっている。端末 1 3 0 または 1 4 0 には例えば図 9 (a) に示すように店舗のホームページが表示される (S 7 1 2)。端末 1 3 0 または 1 4 0 に表示された供給データ表示画面 6 0 1 において、画像ポインタ (8 0 5、8 0 6 のいずれか) が選択され

る（S 7 1 3）と、例えば、図 9（b）に示すように、その地点で撮影された画像を表示する（S 7 1 4）。上記処理手順において、S 7 0 3とS 7 0 4、S 7 0 8とS 7 0 9の処理の手順は入れ替わってもよい。また、データ供給装置から供給されるデータを受信するものとしては、ユーザの端末 1 3 0または1 4 0に限らず、その他の受信手段であってもよい。携帯端末 1 3 0で受信する場合は、移動先でも該データ供給装置 1 5 0からの合成データを見ることができる。

【 0 0 1 3 】

図 1 0 は、ユーザ側の端末 1 3 0または1 4 0と、サービスセンタのデータ供給装置 1 5 0と、地図データ提供元（地図情報提供者）と、店舗との間のデータのやり取りと、ユーザ側の端末 1 3 0または1 4 0における操作、及びデータ供給装置 1 5 0における料金処理の手順例を示す。

図 1 0 において、処理手順は以下ようになる。

（1）ユーザのカメラ付き携帯端末 1 3 0から、取得した画像データ、位置データ、時間データをユーザデータとしてサービスセンタに送信する（S 1 0 0 1）。該サービスセンタには、別途、地図情報提供者からは地図データが提供され、店舗からは店舗データが提供される。

（2）サービスセンタのデータ供給装置 1 5 0はこれらデータを受信し（S 1 0 0 2）、記憶部に記憶する（S 1 0 0 3）。

（3）ユーザのカメラ付き携帯端末 1 3 0またはユーザ宅の端末 1 4 0から、データ供給装置 1 5 0に対し合成データの要求をする（S 1 0 0 6）。

（4）データ供給装置 1 5 0では、記憶された地図データの中から適切な地図データを検索して選び出し、該選び出した地図データとユーザデータと店舗データを組合せて合成データを作成して（S 1 0 0 7）、該合成データを、要求のあったユーザ側の端末 1 3 0または1 4 0に送信する（S 1 0 0 8）。

（5）ユーザ側の端末 1 3 0または1 4 0ではこれを受信し（S 1 0 0 9）、画面に該合成データをポインタ表示する（S 1 0 1 0）。

（6）さらに画面上でポインタの選択操作を行い（S 1 0 1 1）、画像ポインタを選択したとき（S 1 0 1 2）はそれに対応した画像コンテンツを表示させ（S 1 0 1 4）、店舗ポインタを選択したとき（S 1 0 1 3）はそれに対応した店舗

コンテンツを表示させる（S 1 0 1 5）。店舗コンテンツを表示後、必要に応じ、端末 1 3 0 または 1 4 0 から店舗に対し商品等についての問合せや発注（オンラインショッピング）等を行う（S 1 0 1 6）。該問合せや発注等は、サービスセンタ宛に行ってもよい。

（7）サービスセンタのデータ供給装置 1 5 0 では、ユーザ側の端末 1 3 0 または 1 4 0 との一連のやり取りを終了すると、利用料金を計算し（S 1 0 1 7）、データの合成や供給等の料金は課金情報としてユーザ側の端末 1 3 0 または 1 4 0 に送信し（S 1 0 2 0）、地図データの利用率は代金情報として地図データ提供業者の端末に連絡する（S 1 0 1 8）。店舗側の端末に対しては、店舗データのユーザ側への提供料金をやはり課金情報として連絡する（S 1 0 2 0）。該店舗データのユーザ側への提供を広告と位置付けて該提供料をユーザ側の割引ポイントとし、該ポイントに応じてユーザ側の支払い額を減額するようにしてもよい。

（8）ユーザまたは店舗は上記それぞれの課金情報を端末で受信して確認後、料金の支払いをサービスセンタの口座に対して行う。該サービスセンタも地図提供業者に対し地図データの利用代金を支払う。

【 0 0 1 4 】

以上、実施例によれば、ユーザは、レジャーや旅行中に通行した軌跡をデータとして記録し、さらに、撮影した画像もその軌跡に関連した状態で記録されることにより画像の整理が容易となる。また、表示した地図上に店舗の情報を掲載することにより、レジャーや旅行中に立ち寄った店舗の詳細情報を後で知ることができるし、その土地の名物なども後で購入したりすることができる。また、サービスセンタは、ユーザの軌跡や画像データの管理をすることによる対価をユーザから得ることができるし、また、店舗情報を地図に掲載してやることにより、その対価を店舗から得ることもできる。さらに、店舗は、地図に店舗情報を掲載してもらうことにより、地図情報にからめた店舗や製品の広告を行うことができ、売上及び利益の増加を図ることができる。

【 0 0 1 5 】

なお、上記実施例では、店舗への問合せや発注は、ユーザの端末から店舗へ直

接行うようにしているが、本発明はこれに限定されず、ユーザの端末からサービスセンタに対して行うかまたはサービスセンタを介し行うようにしてもよい。また、サービスセンタへのユーザデータの送信は移動先から行ってもよいし、自宅等の端末から行ってもよい。また、上記実施例ではサービスセンタへの店舗データの提供は店舗が行うとしたが、この他、店舗情報提供業者が店舗データの提供元になってサービスセンタへの店舗データの提供を行うようにしてもよく、この場合、ユーザからの問合せや発注や、サービスセンタからの課金情報の連絡なども、該店舗情報提供業者が受付けるようにしてもよい。また、店舗は、本発明の方式を通信販売やオンラインショッピングに利用可能である。

【 0 0 1 6 】

【発明の効果】

本発明によれば、画像データを記憶媒体に単に撮影順に保存しておくだけでも後で見たときどのような状況で撮影したかがすぐにわかる。画像データの編集も容易である。車両で移動しなくとも位置データ等を取得できる。ケーブル接続によらずに位置データ及び画像データを取得できる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明を用いた全体システムの構成例を示す図である。

【図 2】

図 1 の構成をブロック化して示す図である。

【図 3】

本発明のデータ供給装置の構成例を示す図である。

【図 4】

本発明のデータ供給装置に記憶されるユーザデータ例を示す図である。

【図 5】

本発明のデータ供給装置に記憶される店舗データ例を示す図である。

【図 6】

本発明のデータ供給装置が作成する画面例を示す図である。

【図 7】

本発明のデータ供給装置の処理手順例を示す図である。

【図 8】

本発明のデータ供給装置の画像メモリ例を示す図である。

【図 9】

本発明の提供データ例を示す図である。

【図 1 0】

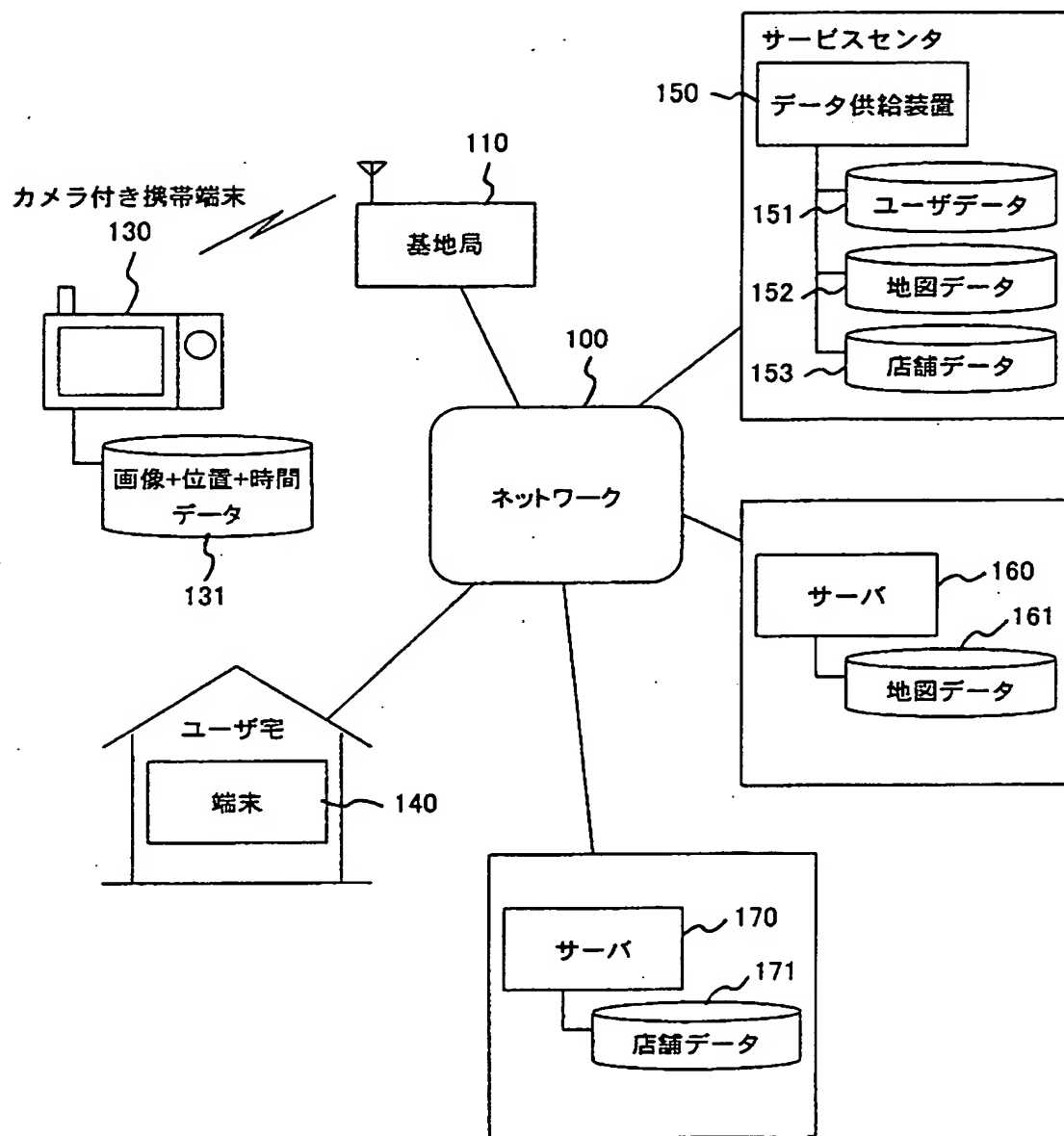
本発明を用いた全体システムにおけるデータの処理手順例を示す図である。

【符号の説明】

1 0 0 … ネットワーク、 1 1 0 … 基地局、 1 3 0 … カメラ付き携帯端末、
1 3 1 … 記憶手段、 1 4 0 … ユーザ宅に設けた端末 1 5 0 … データ供給装
置、 1 6 0 … 地図データ提供元のサーバ、 1 7 0 … 店舗データ提供元のサー
バ、 3 0 2 … 制御部、 3 0 2 a … 合成部、 3 0 2 b … 料金計算部。

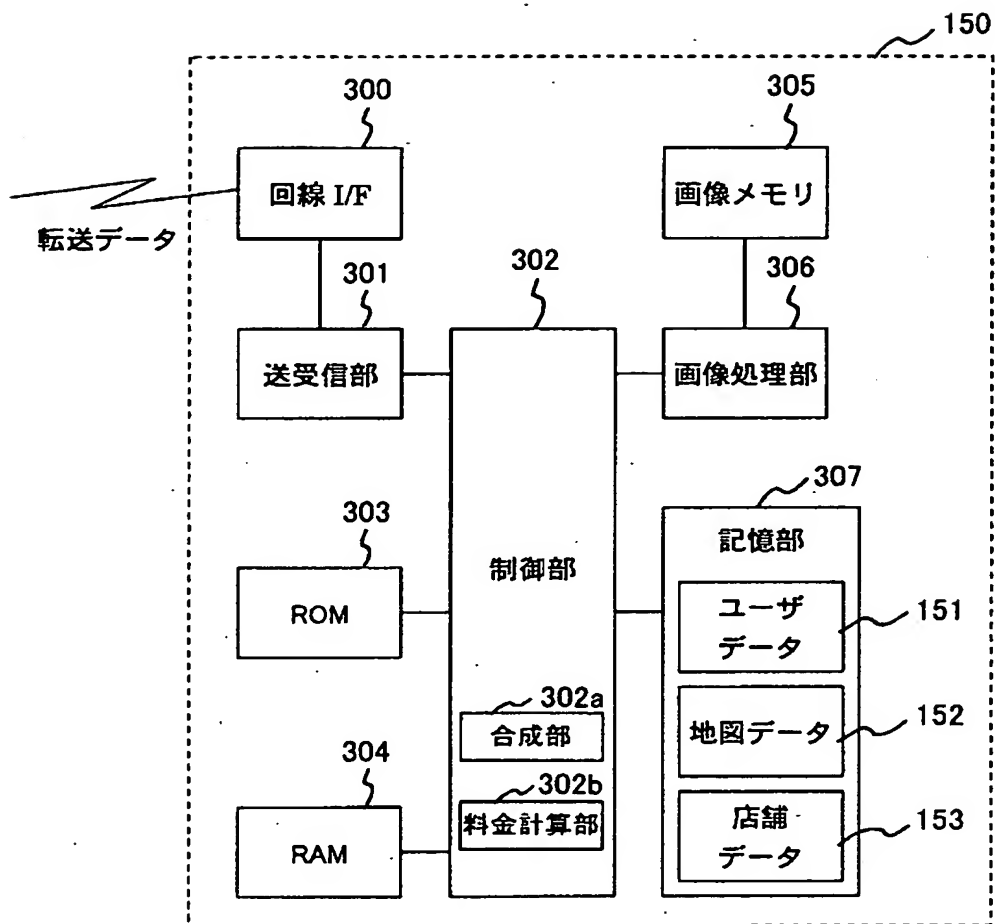
【図 2】

図 2



【図 3】

図 3



【図 4】

図 4

ユーザ ID	タイトル	日付	時間	軌跡座標 (緯度)	軌跡座標 (経度)	画像
ABC123	#1	2000/09/01	12:10:20	N35° 39'16.3"	E139° 44'43.1"	無
ABC123	#1	2000/09/01	12:34:56	N35° 39'50.1"	E139° 44'30.2"	有
ABC123	#1	2000/09/01	12:50:20	N35° 40'16.5"	E139° 44'11.5"	無
ABC123	#2	2000/10/10	15:26:37	N39° 50'24.4"	E142° 12'34.3"	無
ABC123	#2	2000/10/10	15:56:37	N39° 50'10.1"	E142° 13'56.5"	無
ABC123	#2	2000/10/10	16:10:20	N39° 49'51.5"	E142° 13'58.5"	有
:	:	:	:	:	:	:

400 ユーザデータベース

【図 5】

図 5

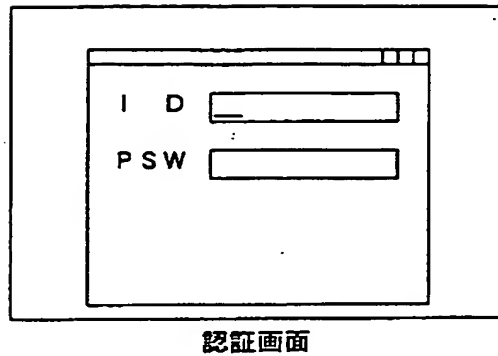
501	502	503	504	505
出店者 ID	業種	店舗座標 (緯度)	店舗座標 (経度)	URL
KLM987	飲食	N35° 39'23.4"	E139° 44'42.3"	HTTP://www.insyoku.xxx
KLM989	飲食	N35° 39'51.2"	E139° 44'35.7"	HTTP://www.rest.xxx
KLM990	土産物	N35° 40'34.5"	E139° 44'12.6"	HTTP://www.miyage.xxx
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

500 出店者データベース

【図 6】

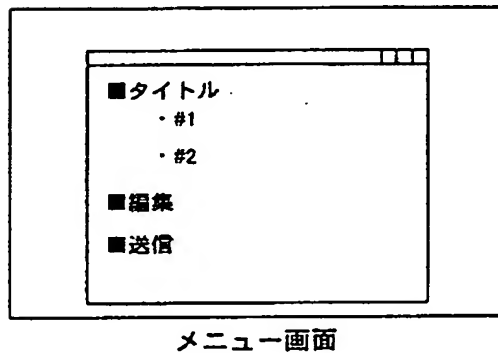
図 6

(a)



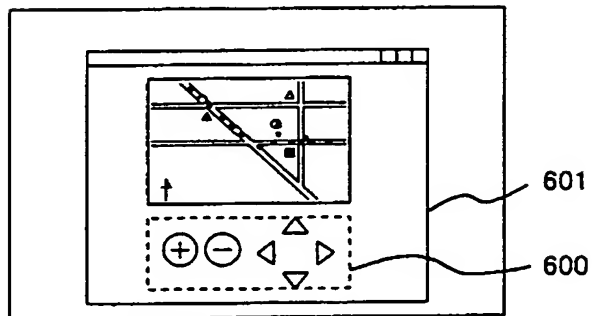
認証画面

(b)



メニュー画面

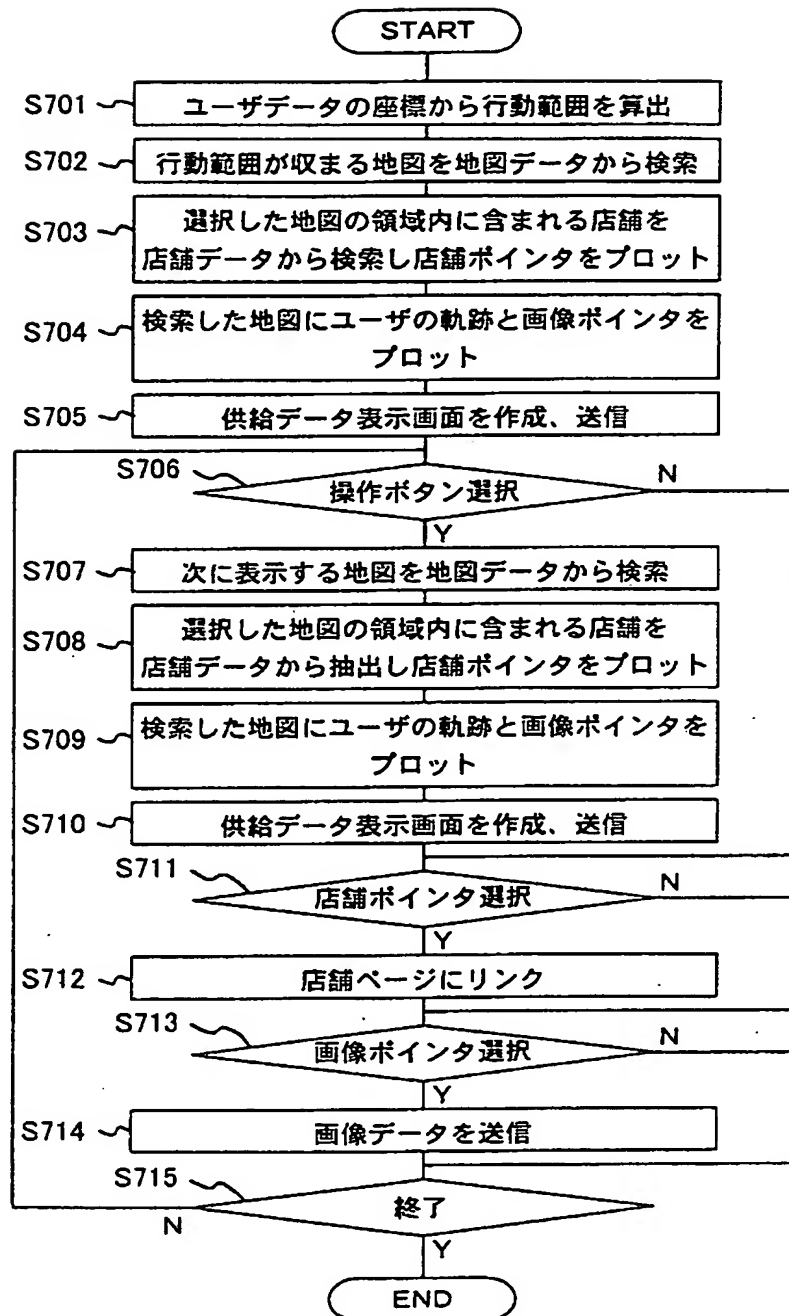
(c)



供給データ表示画面

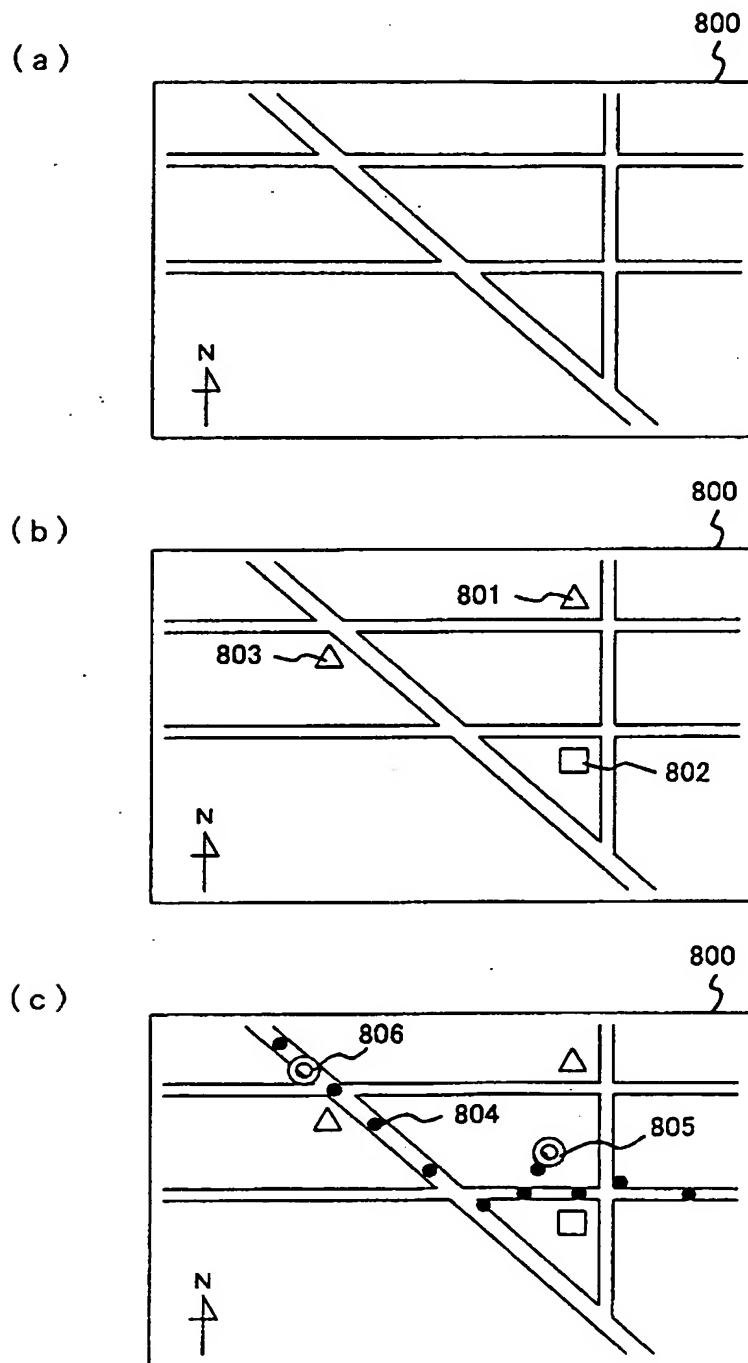
【図 7】

図 7



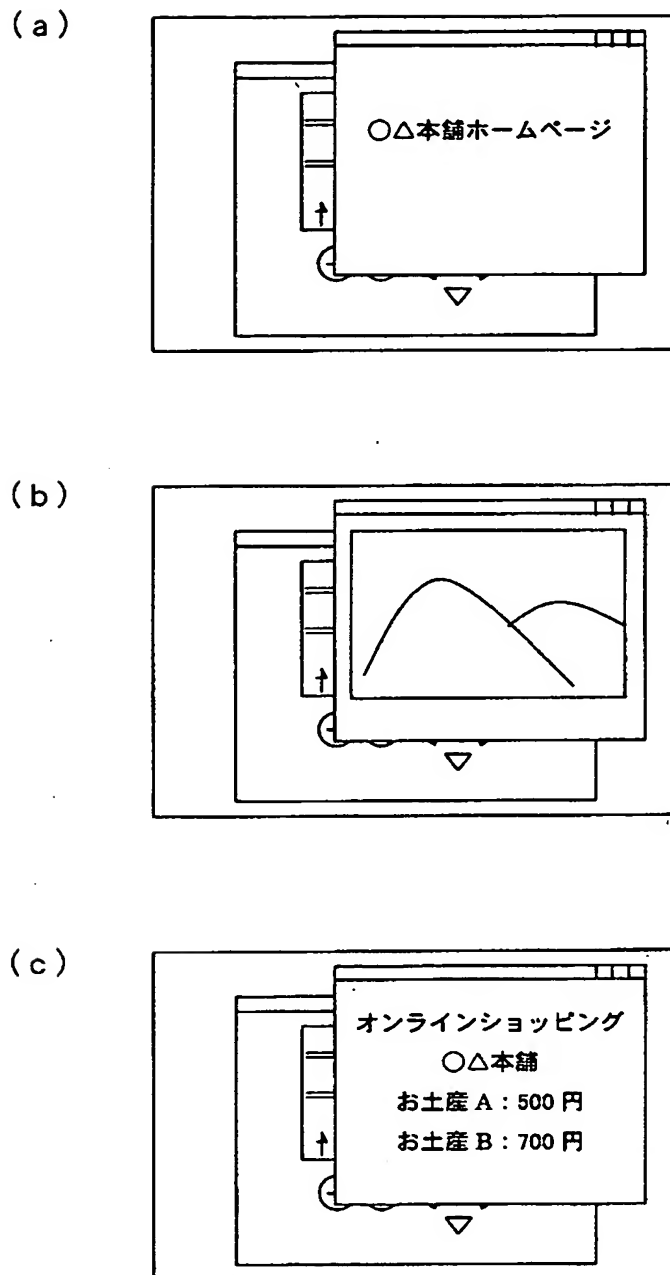
【図 8】

図 8



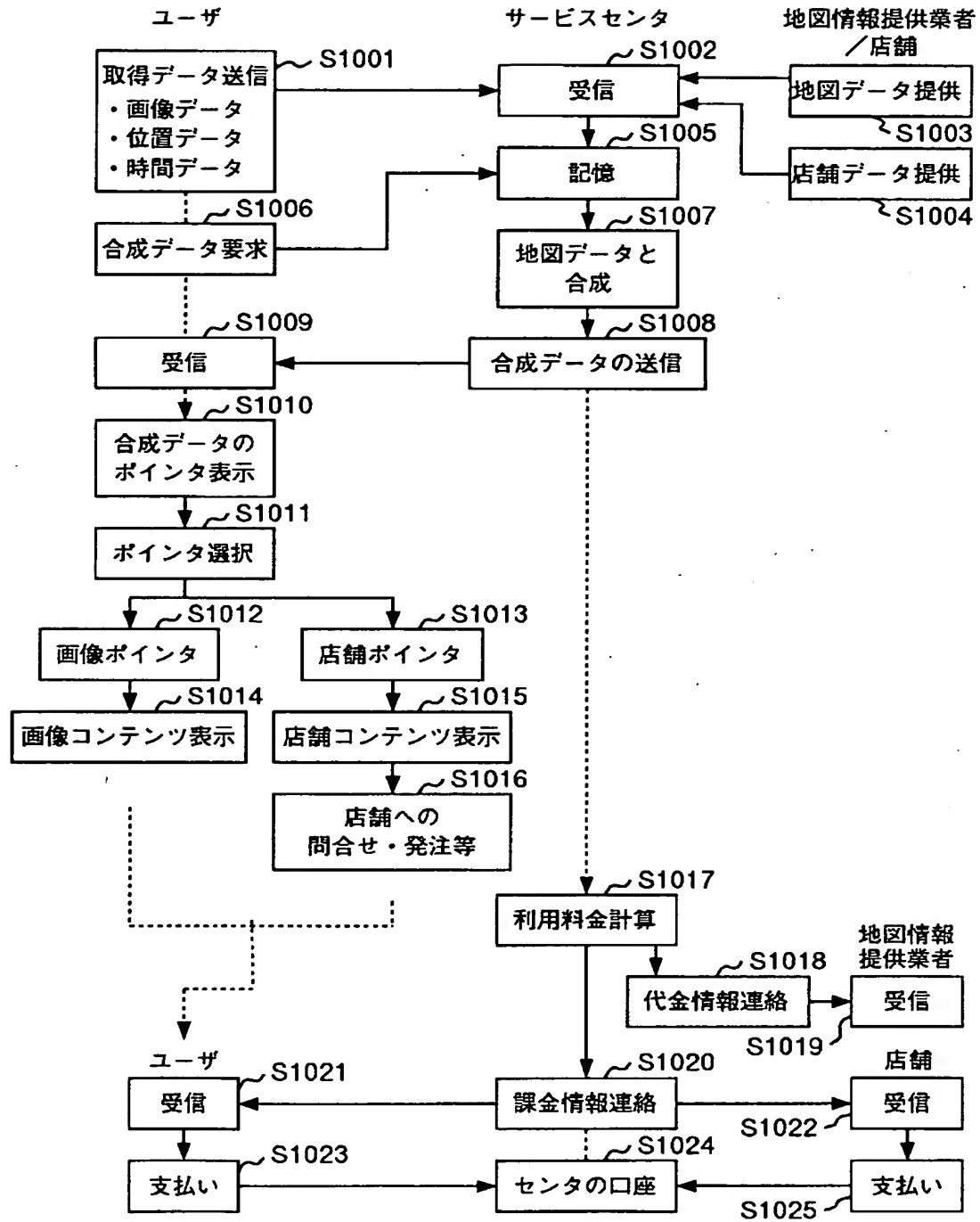
【図 9】

図 9



【図10】

図 10



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】

レジャーや旅行時の撮影データを店舗等の付帯情報を含め簡単に整理可能な技術の提供。

【解決手段】

移動先で撮影した画像等のユーザデータと、店舗データと、地図データとをデータ供給装置に送信し、該装置で移動軌跡を示す合成データとして作成しユーザ側の端末に供給する。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005108]

1. 変更年月日 1990年 8月31日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地
氏 名 株式会社日立製作所